

農地パトロールと耕作放棄地解消に向けて

御所市農業委員会

1. 御所市の農業の概要

御所市は、奈良県の大和平野の南西部に位置し、西部に金剛山・葛城山が峰を重ね、東南部の丘陵地から平野に広がる緑豊かな自然に囲まれた田園都市です。

御所市の農業は稲作を中心としながら、柿・山の芋などの地域特産物の栽培や、施設園芸、酪農なども行われています。

しかし、近年、住民の少子化、農業従事者の高齢化による担い手不足などにより、経営耕地面積は年々減少しており、遊休農地や耕作放棄地が増えている状況です。

2. 農業委員会の取り組み

①充実した農地パトロールの実施

担い手不足などによる経営耕地面積は毎年減少しており、かけがえのない農地を守るため、各農業委員による農地パトロールを実施しています。

農地パトロールでは、地元農業委員と耕作放棄地の状態の判断、同時に耕作放棄地になった理由、付近で耕作していただける方があるかないか、水稻に限らずその周辺での特色ある作物についての栽培や販売など、それぞれの地域の話題と共に耕作放棄地解消に向けての会話をしながらパトロールを進めています。



耕作放棄地解消前



耕作放棄地解消後

②地元農業委員ならではの活動

御所市農業委員会では、各委員の受持ちエリアを明確にしており、地元住民であるメリットを生かし耕作放棄地解消に向けての活動を行っています。

放棄地の状況から土地所有者だけではなく、所有者の家庭状況や放棄地となった理由、個々で対応が異なる放棄地解消に向けての対応、放棄地解消までの長期的な支援等が可能であり、主に個別型の農業委員活動を行っています。

具体的には、耕作放棄地の解消に関する相談の際に、受け手の斡旋だけでなく魅力ある農業の話や、機械の使い方やトラクターやコンバインでの耕作支援、農作物の栽培ノウハウの支援等の指導により、放棄地解消に至った事例もあります。

3. 農業委員会の今後の活動予定

毎月開催している農業委員会において、今後の活動の検討を重ねています。一例として、市内の耕作放棄地を利用した農作物の栽培を行い、市内開催のイベントなどで栽培した農産物の販売等の計画も予定しています。

従来からの農業委員個々での活動から、組織としての活動へと活動移行を検討しており、市内の遊休農地・耕作放棄地解消に向けての取り組みを模索しながら、さらなる耕作放棄地の解消に繋げて行きたいと考えます。